

新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について

～生徒および保護者の方へのお願い～

報道等でご存じの方も多いかと思いますが、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染した方やその家族、医療従事者などの方々に対して、インターネットやSNS上における誹謗中傷等、様々な場面での心ない言動が広がっています。

感染した方は、病気の苦しみに加えて、差別や偏見にあうという二重の苦しみを受けています。医療従事者などの方々も、極度の緊張がともなう大変な仕事をしている中で、差別や偏見にあうという二重の苦しみを受けています。

また、差別や偏見、いじめなどが行われると、感染を疑われる症状がでて、検査のための受診をためらってしまう等、感染拡大の防止に支障が出る恐れもあります。

新型コロナウイルス感染症を理由とした不当な差別、偏見、いじめ等は決して許されるものではありません。

現在、他者との直接的な接触を極力避けなければならない状況の中だからこそ、普段以上にSNS等で交流する機会が増えているかもしれません。差別や偏見を広げるような無責任なうわさ話やツイートをすることがないようにしてください。また、もしそのような差別、偏見を目にすることがあったときは、それに同調することがないように、むしろそれが間違いだと言えるようになってほしいと思います。

東鷹高校では、自他を大切にできる人権感覚豊かな生徒の育成をめざしています。

部落差別や障がい者に対する差別、ハンセン病患者やエイズ患者に対する差別等、様々な差別や偏見の多くは、根拠のないうわさ話や正しくない情報から広がってきました。今でもこれらの差別によって苦しんでいる人がいます。こういった差別や偏見がある社会は誰にとっても安心・安全な社会とはいえません。

今、新型コロナウイルスの問題で私たちの社会は緊急事態におかれています。このような事態だからこそ一人ひとりの正しい人権感覚がこれまで以上に求められます。私たち一人ひとりが責任ある言動・行動をとり、力を合わせて乗り越えていきましょう。

ご家庭でも御理解、御協力のほど、よろしくお願い致します。

また、何か困ったことがあるときは遠慮なく学校に相談してください。